

回覧

元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(2丁目会館) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

生涯学習講座 100回へ

再生協から5年、記念行事を検討

2018年度	21回	932名
2019年度	17回	580名
2022年度	26回	900名
2023年度	19回	570名
2024年度 (11月まで)	11回	409名
合計	94回	3,391名

「地域の学びの場」を目指してきた生涯学習連続講座が近く開催100回を迎える。2018年に地域再生協議会が「一色こうりゅう塾」の名ではじめてからこの11月まで延べ94回。途中、コロナ感染の広がりや2年間の中断があったものの、平均1.6回/月のペースで開いてきた。この間の総参加者数は約3,400名。山本正博生涯学習部会長は「100回は大きな節目。何らかの記念行事を検討したい」としている。

第一回のテーマは「コミュニティスクールで何がどうなる」だった。講師は当時の府川教育長と古正校長。一色小の地域こうりゅうルームを使い、主として一色小学区住民を対象に無料で開催した。その後、場所を町中心部に移し、対象も全町民に広げてきた。再生協議会が元気なコミュニティ協議会に衣替えして以後も中心事業としての位置づけを変えず、2022年度からは町の地域生涯学習振興補助事業の認定を受けている。参加費も無料から500円に。

この9月からは開催場所を県営なのはなハイツコミュニティルームに固定し、さらなる内容の拡充を目指している。ただ、魅力あるテーマや講師の発掘、安定運営財源の確保、協力部会員の拡充などについては引き続き課題として残っている。

4年ぶり 地域でCafé 大盛況 (裏面へ)

健康団地 CR 部会長に三枝氏



ゲンコミはこのほど開いた書面決議による役員総会で、小笠原陶子さんの健康団地 CR 部会長退任と、三枝公一氏(写真)の新部会長就任を決めた。小笠原さんは同部会が新設されたR5年4月に部会長になり、県営二宮団地の建て替えに伴うコミュニティルームの開設準備に当たってきた。この9月に正式稼働にこぎつける一方、町議会議員、百合が丘社協部会長などの活動もあって辞任を申し入れていた。

三枝氏は百合が丘3丁目に拠点を置く小規模多機能事業所・いつでもどうぞの代表理事。今春から健康団地 CR 部会に加わり、開業に向けた準備の中心メンバーとして活躍してきた。「いつでもどうぞは地域とかかわりの強い事業。CR部会が掲げる健康づくり活動が早く軌道に乗るよう努力したい」と語っている。

(表面から)

ゲンコミは11月2日(土)、健康団地 CR で「地域で Cafe&地域で Smile」を開いた。地域サークル・団体の紹介と住民交流をねらいにしたこの企画は4年ぶりの開催。新活動拠点のオープンに合わせて入念な準備を重ねてきたが、当日はあいにくの雨になり、広場を使ったイベントは中止に。それでもパネル発表と活動盛り上げのワークショップを中心に16団体の代表など100人弱の参加者で盛り上がった。

当日、予定通りに行われたのは、第1部の各団体・サークルの事例発表とワークショップ。主に広場で行う予定を組んでいた学童野球、消防団の基本訓練披露、ダンス、お囃子・和太鼓披露など第2部は見送りになった。第2部のうちの音楽活動の一部だけ室内は実施した。

第一部では、地区内の主要団体・サークルがそれぞれの活動への参加を呼びかけ、ワークショップではこれからの活動や盛り上げ策について意見を出し合った。最後に、藤沢市市民活動推進機構理事長の手塚明美さんが、こうした住民活動の重要性とこれからの方向について語った。

(当日の様子は以下の写真の通り)

